

目標達成計画

作成日：平成22年2月8日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	・職員が2名しか居ない場合に、職員2名介助の入所者様へのトイレ介助時には、ドアを20センチ程、開けさせて頂き、他入所者様の動向を把握する事で安全確保をしていた。入所者様の尊厳とプライバシーに対する配慮に欠けていた。	・個人の尊厳とプライバシーに配慮した介助をしながら、他入所者様の安全も確保する。	・トイレのドアの内側にカーテンを取り付ける。2人介助の入所様のトイレ介助時には、カーテンを閉め、ドアを少し開けさせて頂く事で、トイレ内が見えないようにすると共に、他入所者様の動かれる音にも注意できるようにし、転倒のリスクを少なくする。	1ヶ月
2	49	・入所者9名中、介護度4から5の方が7名おり、身体的・精神的状況の違う介護度の低い方への、外出支援が難しくなっている。	・散歩やドライブの機会を確保する事で、満足感を持って頂けるようにする。	家族に本人の希望を伝え、外出の機会を持って頂く。ボランティアの方に行事の際の支援協力をお願いする。デイサービスと合同での企画をする事で、ドライブの機会を増やす。入所者様一人一人が満足感を得られるよう、散歩の距離を変えていく。	12ヶ月
3	36	・夢ほーむに寄付して頂いたエプロンを使用する事で、ビニールのエプロンを使用するという、施設の感覚を持ち込まないようにしていたが、エプロンの形状に対する配慮が足りなかった。	・その人らしさの尊重。	・個人にあったエプロンの購入を御家族にお願いし、食事の時に使用する事で、楽しく衛生的に食事ができる様にする。	1ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月